

阿賀町地域福祉活動計画推進アンケート（結果）

基本目標2 みんなでまもり、支えあいまちづくり

【プラン1】 “まもり”情報発信の充実		評 価							
		個 人				地 域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	情報を自ら積極的に得るようにします。	9	10	1	0	5	9	4	0
2	「広報あが」や「社協だより」、回覧などを読み、町や関係機関・団体からの情報をよく見るようにします。	9	7	4	1	5	10	4	0
3	ホームページやSNSなども活用し情報を得やすい方法で得るようにします。	2	8	5	6	0	7	7	5
4	地域で行う集いや講座に参加して情報を得ます。	11	7	1	1	4	9	5	0

①西地区では、自ら情報収集を行っている人が多い。
 ②回覧板で情報収集はしてるが、すぐに回してしまう。公民館に一部掲載してあるので、誰でも見れるようになっている。
 ④老人クラブで神社の草刈りを行っており、集まった際情報共有が出来ている。民生委員がこまめに訪問してくれるので、また、集いに参加出来なかったとしても情報共有ができています。

【プラン2】 相談体制の充実		評 価							
		個 人				地 域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	困りごとがあったら、相談をします。	9	9	2	0	4	10	3	0
2	相談先が分からない人がいたら教えてあげます。	8	9	3	1	5	9	5	0
3	気軽に相談できる仲間や同じ悩みなどを抱えた仲間づくりをします。	8	6	7	0	7	6	6	0

①民生委員が不在の地区である為、訪問活動が減っている気配がある。
 町の弁護士相談は相談しにくい。気軽な身の上相談先があるといい。
 ②相談内容によっては、専門窓口で相談する必要がある。相談内容に関わらず、総合的な窓口があるとよい。

【プラン3】 みんなで障がいの理解		評 価							
		個 人				地 域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	認知症、障がいの特性を理解します。	13	8	0	0	6	8	3	2
2	障がいを持っている方の立場になって物事を考えてみます。	12	9	0	0	6	9	1	3

認知症や障害について学ぶ機会がない（定期的な気軽な集まりがないため）
 回覧やゴミ出しが理解できない人もいる。普段から顔なじみの関係ができていと話がしやすい。

【プラン4】 防災を学び合うことを通じて支えあいまちづくり		評 価							
		個 人				地 域			
取組内容		A	B	C	D	A	B	C	D
1	災害が起きていなくても、地域で避難場所、避難方法を確認し合います。	6	12	2	1	7	7	3	1
2	地域で避難訓練をするなど防災活動に取り組みます。	9	4	7	1	7	8	1	2
3	災害について家庭や地域で様々な想定（日中・夜間・災害別）をしなが ら話しあいをします。	5	7	8	1	6	6	5	1

①実際に避難勧出た際、実際に避難した人がいないということもあった。（避難場所にトイレや水がなかったり、また遠かったりしたため）
 しらせあいアプリは使わないと使い方を忘れてしまうため年に1回使い方講習を行って欲しい。
 ②ビニールクック、初期消火活動など行っている
 ③様々な想定では実施していない。